

「武器見本市」の開催中止を

幕張
メッセ

臨時県議会に決議案を提出しました

幕張メッセで、6月17日から19日まで防衛装備技術国際会議・展示会(MAST:Asia 2019)が、同じく11月18日から20日まで総合防衛・セキュリティ展示会(DSEI Japan)が行われます。

この「武器見本市」について、開催中止を求める署名運動が展開されるなど市民からの厳しい批判が高まっています。

4月の改選を受けて5月15日に開かれた臨時千葉県議会に日本共産党は、幕張メッセ国際展示場を使った「武器見本市」開催の中止を求める決議案を提出しました。(決議案文は、二面に掲載)

「武器見本市」の開催は、武器の商取引をする内外の軍需産業に多額の利益をもたらすものです。武器使用を奨励する催しへの県有施設の貸し出し、国際紛争の解決にあたって武力行使を禁じている憲法に反し、地方自治体である千葉県が軍事紛争の助長に事実上加担することになります。

幕張メッセ展示場設置管理条例にある「産業の振興及び文化の発展国際化に資する」との目的とも相容れず、「戦争という手段によらずに紛争を解決する道を追求する」との「非核平和県宣言」とも両立しません。

同決議案は、本会議で自民党、公明党、立憲民主党、千葉民主の会などが「緊急事件*」として審議することに反対し、本会議で審議されませんでした。

◆本会議で審議することに賛成した議員

加藤英雄(共産党)／みわ由美(共産党)／西尾憲一(平和の党)／伊藤とし子(市民ネットワーク)／小宮清子(社民党)／秋葉就一(リベラル民主)

*臨時県議会では、意見書案・決議案について「緊急性がある」(緊急事件)との議決がないと本会議で審議(議案上程)されません。今回の決議案は、緊急性が認められず、審議されなかったため、提案理由の説明、討論、賛否が行われませんでした。事実上、「門前払い」です。



6月定例県議会の予定

公約実現へ みなさんと力合わせて 全力でがんばります



- 6月 5日(水)開会
11日(火)～18日(火)本会議
12日(水)請願締切(午後5時)
20日(木)総務防災常任委員会
総合企画常任委員会
21日(金)健康福祉常任委員会(みわ由美)
環境生活警察常任委員会
24日(月)商工労働常任委員会
農林水産常任委員会
25日(火)県土整備常任委員会
文教常任委員会(加藤英雄)
28日(金)閉会

日本共産党は、9月定例県議会と2月定例県議会
で本会議質疑(一般質問)を行います。



みわ由美(松戸市)

健康福祉常任委員／議会図書室運営委員

加藤英雄(柏市)

党県議団長

文教常任委員／都市計画審議委員

あたらしい所属が決まりました

日本共産党が臨時県議会（2019/5/15）で提案した「決議案」は次の通りです。

幕張メッセでの「武器見本市」開催の中止を求める決議（案）

「幕張メッセ」を会場にして「武器見本市」が開催されることについて、県民から厳しい批判の声が上がっている。

同施設で今年6月17日から19日まで防衛装備技術国際会議・展示会（MAST Asia 2019）が開かれ、同じく11月18日から20日まで総合防衛・セキュリティ展示会（DSEI Japan）が行われる。この催しは「武器」の商取引をする国内外の軍需産業に多額の利益をもたらすことは云うまでもない。

そもそも「武器」の使用は、戦争や武力紛争の際に、戦闘員、非戦闘員を問わず、人を傷つけ、人の命を奪うものである。「武器見本市」の開催は、武器の使用を奨励することになり、国際紛争を解決する手段として戦争や武力の行使を禁じている憲法の立場に反するのは明らかである。

その憲法をよりどころにしている地方自治体の千葉県が、県有施設を「武器見本市」の会場に提供することは断じて容認できない。このまま同施設の使用を認めれば、地球上において、いまなお絶えることのない宗教や民族間の対立などによる武力紛争の助長に事実上加担するものと言わざるを得ない。

また、千葉県日本コンベンションセンター国際展示場設置管理条例第2条に記載されている「本県の産業の振興及び文化の発展を図るとともに、本県の国際化に資するため」との設置目的とも相容れない。

さらに、千葉県議会が決議した「非核平和千葉県宣言」では「国際社会の理性を信頼し全世界の協力により、戦争という手段によらずに紛争を解決する道を追求するものである」としており、同施設での「武器見本市」は、この宣言とも両立しない。

よって本議会は、幕張メッセでの「武器見本市」開催の中止を求めるものである。

以上、決議する

2019年5月15日 千葉県議会